



平成 21 年 10 月 21 日

各 位

会 社 名 富士紡ホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中野 光雄
 (コード：3104、東証・大証第 1 部)
 問合せ先 専務執行役員 三木 康史
 (TEL. 03-3665-7612)

業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 7 月 31 日に公表した業績予想を下記の通り修正することとしました。また、特別損失が発生する見込みとなりましたので、併せてお知らせいたします。

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000	百万円 800	百万円 650	百万円 250	円 銭 2.35
今回発表予想 (B)	15,800	1,350	1,250	350	3.29
増 減 額 (B - A)	800	550	600	100	
増 減 率 (%)	5.3	68.8	92.3	40.0	
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	21,400	1,849	1,708	203	1.88

(2) 平成 22 年 3 月期通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,000	百万円 2,000	百万円 1,700	百万円 700	円 銭 6.59
今回発表予想 (B)	32,300	2,900	2,600	900	8.47
増 減 額 (B - A)	300	900	900	200	
増 減 率 (%)	0.9	45.0	52.9	28.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	38,203	2,706	2,283	371	3.45

2. 修正の理由

当第2四半期累計期間における売上高は、経済危機の影響による厳しい環境が続き、繊維事業で苦戦を強いられておりますが、一方で研磨材事業の受注が順調に回復し、グループ全体では平成21年7月31日公表の予想数値を上回る見通しです。営業利益、経常利益においては個人消費の低迷が続き繊維事業の採算が悪化している反面、研磨材事業の受注回復による稼働率の改善等により、予想数値を大幅に上回る見通しです。四半期純利益につきましても、減損損失などの特別損失の計上はありましたが、予想数値を上回る見通しです。

また、第2四半期累計期間の業績を勘案し、通期業績の見通しについても修正いたします。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

3. 特別損失の発生

当第2四半期の連結および個別決算において、当社が連結子会社に貸与している生産設備等の一部について過年度および将来の業績を勘案し、減損損失328百万円を計上する予定であります。

なお、当該特別損失については、上記の業績予想の修正に織り込んでおります。

以 上